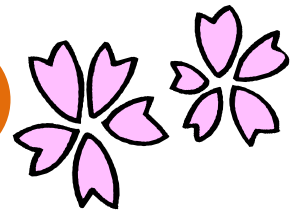


患者・利用者みなさまへ



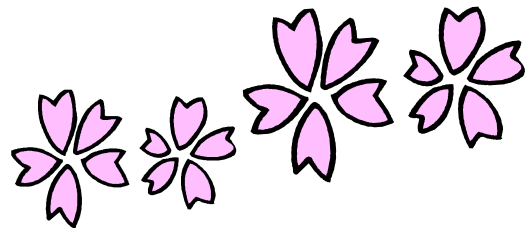
安全・安心の医療・介護をまもるため 全国の仲間と連帯してとりくんでいます

患者・利用者みなさま

私たち日本医労連傘下の労働組合は本日、安全・安心の医療・介護とくらしをまもるために、働く者の賃金引き上げ・大幅増員と社会保障の充実、働くルール確立を求めて、ストライキを含む行動を全国の仲間とともに進めています。みなさまのご理解とご支援・ご協力をお願いします。

「患者さんや利用者さんに安心して医療や介護を受けてほしい」「知識や技術をいかし、専門職としてやりがいを感じる仕事がしたい」「子どもや家族がいても働きたい」—これらは私たちの切実な願いです。しかし、今の医療や介護の職場は、過酷な労働や低賃金が原因で職場を辞めていく人が後を絶ちません。医師を除いた医療労働者の賃金は他の産業の平均より低く、介護職においては9万円も低い状況にあります。また、人手不足のため夜勤回数が増え、17時間を超える長時間夜勤も増えています。そのため健康に不安を感じている職員も多くいます。地域の皆さんの願いにこたえる医療・介護を実現するためにも、医療・介護に働く労働者が働き続けることができる環境改善、生活できる賃金、大幅増員がどうしても必要です。

今政府は、社会保障充実のためとして消費税増税を進める一方で、国民の医療や介護を受ける権利を制限し、負担増もすすめている。いつでも・どこでも・誰でも、安心して医療・介護が受けられる制度になるよう、一緒に声をあげていきましょう。



日本医労連

